◎　道徳部門

１　研究主題

「特別の教科道徳の実施に伴う授業づくり～教材研究の方法と発問づくり～」

２　基本方針

（１）研究委員会を年２回、道徳授業づくり研修会を夏季休業中に１回開催し、天草管内の道徳教育の充実・発展に資するための活動を行う。

（２）熊本県道徳教育研究会、熊本県天草教育事務所等との連携を図る。

３　活動内容

（１）　６月１４日（金）　第１回研究委員会

ア　天草教育研究所部門別会長会報道

イ　九州地区道徳研究大会･熊本県道徳教育研究大会について

ウ　本年度の事業計画作成



（２）　７月２２日（月）道徳授業づくり研修会準備委員会

ア　「道徳授業づくり研修会」企画・打合せ（役割分担）

（３）　８月５日（月）「道徳授業づくり研修会」

ア　場所　天草教育会館

イ　内容　道徳の授業づくりについて

ウ　参加者　６７名

エ　日程　・講義　教材研究の方法について

・教材分析と発問づくり（個人→グループ）

・グループによる展開案作成

・模擬授業ならびにグループ協議

・会長による指導ならびにまとめ



（４）　１月３１日（金）　第２回研究委員会

ア　年間活動並びに反省　イ　次年度の方向性の検討

４　まとめ

夏季休業中に終日の「道徳授業づくり研修会」を実施した。昨年度の「発問を中心した授業づくり」研修が好評であったので、今年度も授業で生かせる「教材分析と発問づくり」を中心として研修を行った。今年度の参加者数は、昨年度と同数で、参加者の道徳教育への意欲を感じることができた。まず、授業マイスター天草市立牛深小学校の櫻井裕子教諭が、教材「くずれおちた段ボール箱」を使って、実践的な授業づくりについての研修（４５分）を行った。その後、参加者はその研修を基に、小中学校に分かれ、小学校教材「日曜日のバーベキュー」中学校教材「みんなでとんだ！」について、各自、道徳的価値の分析や児童生徒の実態から、学習過程を構想した。そして、グループでの話合い、模擬授業へ向けてグループでの練り上げという形で研修を進め、最後は、小中学校それぞれで模擬授業を行い、中心発問やその前後の発問について協議した。



最後に、考え・議論する道徳の姿や授業改善、評価について、会長がまとめを行った。参加者からは、「深まりのある教材研究ができた。」「授業づくりのポイントが分かった。」「自己をみつめる段階や終末についてもっと知りたい。」などの声が上がった。教材分析や発問づくりは、考え・議論する道徳の授業展開の重要な要素である。教師の真摯な取組が、児童生徒同士の意見交流を生み、児童生徒の道徳的実践力へつながる。今後も、多くの先生達の実践を大切にした研修を進めていきたい。

